

# 筑坂魅力化プロジェクト 活動報告書

ICT チーム

## 目的

高度な ICT に対応するために想定される問題とその解決策を提案し実施する

## 調べたこと/実行したこと（方法、結果）

<p>(方法)</p> <p>第一回ディスカッション テーマ「フェイクニュースに惑わされるな！！」</p> <p>日時：10月22日（木）16時～ @多目的交流棟</p>
<p>(結果) 参加者：11名</p> <p>事後アンケートの結果から、ディスカッションを通じて「新しい発見を得ることができた」と回答した人が84.6%いた。具体的にどのような発見があったかを問うと、「多角的に物事を見る事ができた」や、「情報を100%信じるのは良くない」などの結果が得られた。このことから参加者は今後高度な ICT に対応する際に想定される解決策を自身で考えだすことができるのではないだろうか。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループごとにディスカッションを行なった為、進捗状況にズレが生じた。</li><li>・広報活動に問題があったと考えられるが、参加人数が少なかった。</li><li>・テーマに対しての具体的な答えがなかった為上手くまとめられなかった。</li></ul>

<p>(方法)</p> <p>第二回ディスカッション テーマ「写真でバレる個人情報」</p> <p>日時：11月12日（木）16時～ @物理教室</p>
<p>(結果) 参加者：17名</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・前回のディスカッションでの反省を生かし、テーマに対しての具体的な答えを設定した。</li><li>・テーマをかなり身近なものに設定した為、自分の意見や思った事などを活発に発言していて質の高いディスカッションを実施することができた</li><li>・事後アンケート結果から、「客観的にインスタの投稿を見ることにより、想像以上に簡単に個人情報が写真から見て取れることがわかった」など一枚の写真から多くの情報を読み取れることを参加者に伝えることができたのではないかと考えられる。</li></ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・参加者の人数を把握できなかった為、グループ分けに時間がかかった。</li><li>・前回のディスカッションとは異なり、今回は明確な答えを用意していた為グループによっては想定よりも早く終わるグループがあった。</li></ul>

## 考察（結果から考えられること）

講習会等を開くよりもディスカッションを実施することによって、生徒自身は「教わる」のではなく、自分で「考える」ことができるので、生徒の理解・関心をより深めることができたのではないかと考えられる。第一回ディスカッションでは、身の回りには多くのフェイクニュースがあることを伝えることができ、情報の信憑性等を踏まえながらどうすればフェイクニュースなどの間違っただ情報を見極めることができるのか考えることができた。また、第二回ディスカッションでは ICT の中でも高校生に身近である SNS をテーマにディスカッションを行うことで生徒自身が今後 SNS を利用する上で気をつけなければならない事・想定される問題点を自身で身につけることができたのではないだろうか。

## 探究を通しての新たな課題

計2回のディスカッションでは大まかなテーマを SNS に設定し、馴染みやすいディスカッションを企画することができた。だが、ICT の分野は広くあり、その一部分しかディスカッションで話し合う事ができなかつた為、ICT が抱える問題点や社会への必要性などを一部しか伝えることができなかった。

### <ディスカッションの様子>

#### 第一回ディスカッション @多目的交流棟



#### 第二回ディスカッション @物理教室

